

銅使用の抗菌ベッド

フランスベッド 院内感染の予防に

フランスベッドホールディングスは抗菌効果の

ある銅を使った医療機関向けのベッドを開発した。患者の手が触れるベッドの柵などの素材を銅合金にした。ウイルスや細菌を減らし、院内感染を防ぐことができるという。需要が多いとみられる小児科や集中治療室(ICU)を中心に、1

年間1000台程度の販売を目指す。

10月にも発売する。価格は未定だが、高価格帯製品として売り込む。

通常スチールを使っている柵やヘッドボードの銅には表面についた病原菌を減らす効果がある。米銅開発協会の実験では、院内感染の原因と

手すりに銅とニッケルなどを混ぜた銅合金を使った。

なりやすいメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)などが2時間では100%死滅したという。

銅を使った病室用机なども発売する予定。